



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

## 11

2025. 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 419

国際会長: Edward Ong [シンガポール] 信念、愛、行動  
Faith, Love, Action

アジア太平洋地域会長: 田上 正 [熊本むさし] 信念と愛を持って行動しよう!  
Act now with faith and love!

西日本区理事: 中井信一 [奈良] 世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!  
Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!

九州部部長: 本田節子 [熊本Nスピリット] 楽しく交流しながら地域のために奉仕しよう  
Let's serve the community while having fun and interacting



「一步一步積み重ねていけば何とかなる!」

鹿児島クラブ会長 松若 鉄比古

## 10月例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

10月28日に「珈琲館かみむら」で、歌声例会として行われました。会員のほか、元ワイズの山下早容子さんがご主人をお連れして参加され、とても嬉しく、懐かしい会となりました。

この会では、みんなで食事をしたあと、新内良味メネットのリードで手指の運動や早口言葉などの脳トレをし、さらにアコーディオン演奏に合わせて、秋の歌、童謡、懐メロなどを歌いました。良味メネットの巧みなリードで輪唱や合唱をし、大いに盛り上りました。ふだん家では声を出す機会がなく、この時とばかりに皆さん大きな声で歌い、明るく元気になりました。私たちのクラブは少人数ではありますが、良味メネットのように雰囲気を明るくしてくださる貴重な方がおられることは、クラブの誇りであると実感しました。



10月例会の様子



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

vol.  
11

## 会長通信

鹿児島クラブ会長 松若 鉄比古

「一步一歩積み重ねていけば何とかなる!」



ようやく本格的な秋の気配が漂ってきました。イチョウ並木を筆頭にこれから木々の葉が色づいてくるシーズン。舞い落ちる葉に季節の歩みを感じたいと思います。

10月のクラブの会合及び活動は、10月11日に九州部第2回評議会と部会、10月19日に世界食料デー鹿児島大会街頭募金活動に鹿児島YMCAと参加、10月28日に定例会として「珈琲館かみむら」で「みんなで歌う会」を開催しました。例会では、童謡、季節の歌、懐かしい歌等を新内良味メネットのアコーディオン演奏で久し振りに大きな声を出し、楽しく元気が出る例会でした。ワイスの皆様には多忙な折、多数ご参加頂き感謝しております。

ところで、最近1年が早く感じる様になりました。特に現役引退後の20年の歳月は、毎年の記憶がないくらいあつという間に過ぎて驚きます。その事についてフランスの哲学者の名前から「ジャネーの法則」と呼ばれる心理学的な説がある事をある新聞で知りました。年をとると新鮮な体験の機会などが減り、1年の体感時間を短く感じるという。例えば自分の場合、現役時代最後の60歳の1年は人生全体の60分の1ですが、現在の80歳は80分の1。だから80歳は60歳の1.3倍速く感じるといった具合。現役引退から今まで日々漫然と過ごしていたかもと反省しています。どうせなら「ジャネーの法則」にあらがい、残りの人生を豊かに送りたい。いつになっても新鮮な体験に挑戦すれば、充実した生活を送れるはず。残りの人生1年1年「どう生きるか」を問い合わせたい。「あの年はこうだったな」と振り返れるように。そこで鹿児島クラブの活動でも、皆と新鮮な体験の機会を得る事の出来る例会の計画を練りなければならないのではと思うこと頻りです。

vol.  
11

## 理事通信

西日本区理事 中井 信一

世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!  
Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!



暑かった長い夏もやっと終息し、待望の爽やかな季節が到来して参りました。季節の変わり目、お互いに体調管理にも気を付けて参りましょう。嬉しい国際・交流の話題からお伝え致します。東京の田中ワイスより、スロバキアのワイスご夫妻がプライベートですが、大阪、京都に来られるとの連絡を頂戴致しました。9月16日に①中西部3クラブの合同例会(約30名参加)、19日には②京都部の国際・交流及びファンドの2事業懇談会(約60名参加)の情報を頂き、その集いにご一緒したい旨を連絡致しました。タイミングが合い、到着日の16日に①の合同例会に顔を出して頂く事になりました。当日到着便の関西空港到着が大幅に遅れ、会場(大阪YMCA)の閉館時間もあり、全員の皆さまとは交流が出来ませんでした。一方、私が彼らを待ち受けていました滞在先ホテルに有志の皆さま(岡村次期理事、掛谷中西部長、牟会長、岩原会長、丹吾事業主任、清水直前事業主任)が遅い時間にも拘らず駆け付けて頂き、情報交換を行いました。ワイスの友情に改めまして感謝です。京都では、森田(美)ASP事業主任の手配で約60名の皆さまと交流して頂きました。隠塚部長や山田国際・交流事業主査が中心になり、活発な情報交換会となりました。帰国後のご夫妻からも、西日本区の皆さまの素晴らしいHOSPITALITYに感動と感謝のお言葉を頂きました。さて、9月からは、いつも楽しみにしております部会が始まりました。1) 13日は、京都部会。400名強の仲間が集い、京都部の大迫力のパワーを頂きました。多くの仲間と楽しい交流の機会、京都市合唱団の爽やかな歌声も楽しみました。部会に先立ち『メネットの集い』も開催され、“ひとり親家庭”について様々なヒントを頂く、有意義な集いになりました。2) 14日は、中西部会。ユースリーダーの素晴らしい発表が特に印象に残っており、温かい雰囲気の集いに感謝申し上げます。3) 27日は、阪和部会。戦後80年の節目、部長の平和を次世代に繋げよう、ユースに伝えようという熱い思いが感じたる集いに感謝申し上げます。4) 10月4日は、中部部会。31年振りの富山での開催、心のこもった地元の食材を使った食事やお酒を頂きました。立山連峰の眺めは、今回は残念ながら楽しむ事が出来ませんでしたが改めて来て下さいとのメッセージと受け取りました。5) 11日は、九州部会。8月のAC2025の熱気が冷めやらぬ熊本での開催。こちらでもユースリーダーの新たな企画を楽しみました。好物の馬刺しも部会の後でたっぷり頂き、大満足の熊本でした。それぞれの部会でYYY一体となった部会を開催して頂き、感謝申し上げます。残りの部会や様々なイベントで皆様とお話出来るのを楽しみにしています。ご一緒に楽しみましょう。

# 九州部部会報告

九州部 部長 本田 節子

九州部部会を2025年10月11日(土) 15:30~19:30会場をホテルメルパルク熊本にて行いました。当時は104名の皆様のご参加をいただき盛大に開催することができまして、心より感謝申しあげます。今回の部会では「ユース・若者に活躍してもらう」ということに焦点を当ててプログラムを検討いたしました。

第1部では九州部各クラブのバナーセレモニーから始まり、熊本YMCA総主事 伊藤眞太郎様、西日本区理事 中井信一様、アジア太平洋地域会長田上 正様よりご祝辞をいただきました。また、「九州各学生YMCA支援」「全国リーダー研修会」への支援金を熊本YMCAへお渡しすることができました。

第2部は「報告会」です。まずは「ぶらっとほーむ」リーダーとプログラム参加者による音楽演奏。「愛をこめて花束を」は2週間かけて一生懸命練習したそうです。少し緊張しているように見えましたが、心のこもった素敵な演奏をありがとうございました。自己紹介もしてくれましたが、心なしか笑顔も見えてこんなに大勢の人の前で演奏できて自信がついたのではないかと大変微笑ましく嬉しく感じました。また、演奏の最後に思いがけず花束(手品で出てきました)をいただき感動しました。続いて「アジアユースコンボケーション」参加者の発表。阿蘇キャンプで世界各国からきた若者が英語を使ってのコミュニケーションや母国の紹介やダンスに披露など楽しいひとときを過ごしたようです。「ピースセミナー参加報告」では地元広島出身のリーダーの発表もあり、改めて平和実現へ向けての決意感じることができました。「ぶらっとほーむ」の活動報告は代表の下田大雅さん。ホストクラブの担当主事でもあります。日本での自殺は少し減ってきているけれども小学生や中学生の自殺は増えている現実をなんとか変えることはできないのかという提言でした。心休まる居場所を提供することできればと活動をしています。チャリティーゴルフからぶらっとほーむに収益金が贈呈されました。

第3部懇親会のオープニングアクトでは「新町獅子保存会」による「牡丹の舞」が披露されました。熊本YMCAの所在地でもある新町に熊本城が築城された時からずっと藤崎宮に奉納されている獅子舞です。熊本では藤崎宮秋例大祭にて舞われるのですが、特別にお願いをしたものです。赤と黄の獅子が呼応して舞う姿は豪快で華麗で神聖なものでした。退場の際には各テーブルを獅子が回り、一人一人の頭をかじることで無病息災を祈ってくれ、会場も大いに盛り上がりました。第3部の司会はリーダー2名にお願いをしました。流れは確認しましたが、司会原稿も自分で作って当日は堂々と司会をしてくれました。本当に誇りに思います。チャリティゴルフコンペの表彰式では、それぞれの活躍を皆で祝いました。楽しそうに表彰を受ける皆さんのが笑顔が素敵で印象に残っています。多くの皆様のお支えでこのように楽しい交流の時が持てましたことを心より感謝申し上げます。

## 今月の樹 ウンシュウミカン(温州蜜柑、学名: Citrus unshiu)

ミカン科の常緑低木またはその果実のこと。鹿児島県長島が原産とされる柑橘類の一種。さまざまな栽培品種があり、産地によりブランド名がある。果実が食用にされ、種がなくオレンジよりも淡泊な味わいがある。

英語では「Satsuma mandarin(サツマ マンダリン)」と呼ばれる。かつて、鹿児島からアメリカへ苗木が輸出された事に由来する。

「みかん」が専らウンシュウミカンを指すようになったのは明治以後である。江戸時代には種無しであることから不吉として広まらず、普及していたのは本種より小型の種がある小ミカン(紀州蜜柑)であり、「みかん」を代表していたのは小ミカンであった。

(ウィキペディア参照)



10

October

## 10月例会報告

日 時: 令和7年10月28日(火)

場 所: 珈琲館かみむら

出席者: 11名

(ゲスト:山下早容子夫婦、高木伸江氏)

内 容: みんなで歌う会



### 今月の聖句

きょうだいたち、あなたがたは自由へと召されたのです。ただ、この自由を、肉を満足させる機会とせず、愛をもって互いに仕えなさい。

なぜなら律法全体が、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句において全うされているからです。

互いにかみ合ったり、食い合ったりして、互いに滅ぼされないように気をつけなさい。

(ガラテヤの信徒への手紙 5:13-15)

### 10月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	7名
メネット	1名
コメット	0名
ゲスト	3名
ビジター	0名
マイクアップ	1名
10月出席率	133%

鹿児島ワイズメンズクラブ  
WEBサイトはこちら▶



# 2025年11月YMCA報告



## 清掃活動

11月16日（日）早朝に実施した清掃活動。今回は個人会員、法人賛助会社の日本ガス（株）、本坊酒造（株）、（株）サナス、（株）カクイックス、そして鹿児島ワイズメンズクラブから88名もの有志が集まり約1時間清掃しました。これぐらいなら良いだろうという人の弱い心が、ごみの投棄や環境美化への意識低下につながるということを参加者で確認して朝の気持ちよい活動を終えることが出来ました。



## おはら祭

11月3日に南九州最大のお祭りとして知られるおはら祭りに鹿児島YMCAチアダンススクール総勢200名で参加してきました。秋晴れの天気が広がる中、子どもたちは元気いっぱい大きく踊っていました。



## 児童クラブ事業開設に向けて

鹿児島市で一番のマンモス校である中山小学校校区で募集があった児童クラブ事業に鹿児島YMCAは応募申請を行い、9月にプレゼンテーション、10月に選定団体となりました。この募集の背景に、日本バプテスト鹿児島教会が運営する中山小羊児童クラブが事情により撤退するということがあります。その後任として鹿児島YMCAが手を挙げました。この度選定団体となり、この中山小羊児童クラブを継承する形で運営を行うことになります。開始は2026年4月1日になり、これから年度末に向けて準備を整えていくことになります。青少年を育成する社会教育団体として、責任をもって地域社会と共生し、子どもたちのために働いてまいります。



## 2025年度秋季三水会

11月6、7日の1泊2日に渡って、YMCAの職員研修である秋の三水会を鹿児島で開催しました。YMCAせとうち、広島YMCA、北九州YMCA、福岡YMCA、熊本YMCA、そして鹿児島YMCAから総勢22名が参加し、交流と学びを得る時間を持ちました。

今回は、2月に取り組むピンクシャツデーを見据えて、学校教育現場について学ぶ、いじめについてどう向き合っていくかということをテーマに学びを深めました。講師に、昨年ワイズの例会で講演してくださった鹿児島国際大学の辻先生に大変学びの深い講演をしていただきました。学びの最後は、知覧特攻平和会館へフィールドトリップを行い、ユース世代がたくさん犠牲になった戦争の悲惨さと平和の尊さを学びました。

